

スライディングマイクローム

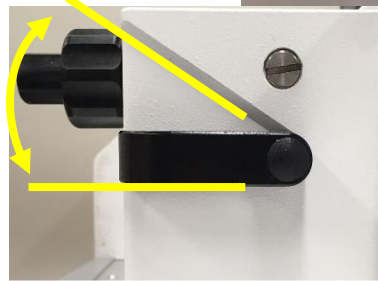
試料クランプの固定、調整方法

試料クランプ固定レバーは根元まで差し込んだ状態でご使用ください。
浮き上がっている状態では正常に固定できません。



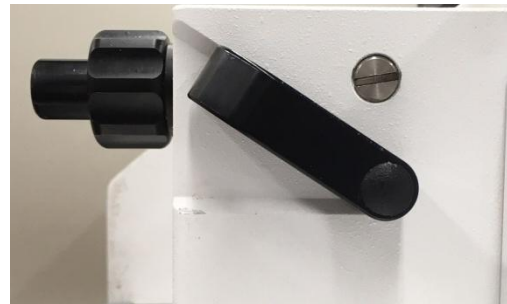
試料クランプ固定時のレバーの角度

ロックと解除をこの範囲で行える状態が正常です。



正しい固定角度

正常に固定できていない可能性がある角度



レバー可動範囲に余裕があり、この辺りの角度でレバーが硬くなれば固定は十分です。

レバー可動範囲に余裕がなく、しっかり固定できているか判別できません。



※ レバーを固定位置に傾けても手を離すと戻ってしまうことがあります。

パラフィン層など汚れが付着している場合があります。その時はレバーを抜き取り、軸の部分クリーニングしてください。市販のグリースを薄く塗ってセットしてください。

**レバー固定角度が正しくない場合クランプ側の調整が必要です。
次ページの手順に従って正しい固定角度で固定できるように調整してください。**

試料クランプの調整



試料クランプがしっかり固定できない場合、クランプ側で調整が可能です。
レバーを解除方向にいっぱいまで傾けて手前に引きぬいてください。
試料クランプを取り外してください。

上部（黒）と下部（銀）の間に穴のあいた真鍮部分があります。この穴は調整時固定するためにレンチ等を通す穴です。



このネジを緩めてください。六角レンチ 1.5（ミリサイズ）を使用します。



真鍮部分の穴にレンチなどを差し込み回転しないよう固定します。

下部（銀）を少し時計回りに回転させます。
5°程度が目安です。（少しずつ調整してください）
回し過ぎると本体へ取り付けの際にレバーが抜けなくなってしまうことがあります。

写真のように2本の指でつまむ程度の回し方でネジを締めてください。
強く締め過ぎると内部のネジ山をつぶして破損してしまいます。
真鍮部分と下部（銀）がずれない程度で十分です。



試料クランプを本体へ取り付けてレバーを差し込んで状態を確認してください。

レバーの差し込みが硬すぎる場合は下部（銀）の回し過ぎです。レバーを無理やり差し込まないでください。レバーが抜き取れなくなることがあります。

緩いようでしたら、再度固定ねじを緩めて下部（銀）を時計回りに回転させて調整してください。

硬いようでしたら下部（銀）を反時計回りに回転させ調整してください。

202604